

地震

情報の
入手先●気象庁 気象警報・注意報
●気象庁 地震情報<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
<https://www.data.jma.go.jp/multi/quake/index.html?lang=jp>

地震発生時のタイムライン

地震発生

●まずは自分の身を守る

●机の下に入る。 ●クッションや雑誌などで頭を保護する。 ●家具やガラス面から離れる。

緊急
地震速報

地震発生後、大きな揺れが来る数秒～数十秒前にテレビ・ラジオ・携帯電話などから警報を発表するシステムです。震源に近い地域は、緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。

テレビ・ラジオ

携帯電話

防災行政無線

こんなときは

人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため、係員の指示に従い、落ち着いて行動。

山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意。

路上にいた！

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

●注意 ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。

車を運転していた！

徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に待つ。

●注意 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。

エレベーターの中にいた！

すべての階のボタンを押して、停止した階で降りる。

●注意 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。

発生から
1～2分

●揺れがおさまったらまず火の始末

●脱出口を確保する。 ●火元を確認する。 ●家族の安全を確保する。 ●靴をはく。

発生から
3分

●隣近所の安全確認・火災の発生を防ぐ

●隣近所に声をかける。 ●余震に注意。 ●非常持出品を用意する。
●近所に火が出ていたら初期消火。発生から
5分

●ラジオなどで正しい情報入手

●正しい情報をつかむ。 ●電話は緊急連絡を優先。
●家屋倒壊などの危険があれば避難。発生から
10分～

●協力して消火・救出・救護活動

●助け合いの心が大切。
●壊れた建物には入らない。
●災害情報・被害情報の収集を行い、デマ情報にまどわされない。

津波

情報の
入手先●気象庁 気象警報・注意報
●気象庁 大津波警報・津波警報・津波注意報<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

津波の特徴

●ジェット機並みの速さ



津波の速さは海が深いほど速く、津波が見えてからでは逃げ切れません。

●想像以上の高さ



津波の高さは海岸の地形等で変わります。東日本大震災では、想像以上の津波が発生しました。

●予兆もなく襲ってくる



必ずしも、津波の前に引き潮（予兆）があるとは限りません。

●津波は繰り返す

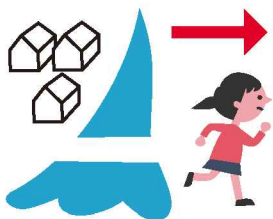


津波は繰り返すので、警報や注意報が解除されるまで沿岸部に近づかないでください。

避難のポイント(津波)

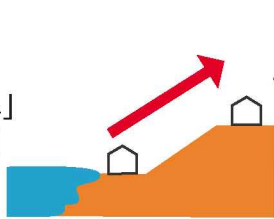
●海岸や川には近づかない！

海岸はもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、できるだけ川に近づかず避難しましょう。



●高い場所へ避難する

海岸から「より高く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。



海拔表示板を目安により高いところを目指してください。



地震ハザードマップ(揺れやすさマップ)

どこでも発生する可能性のあるM6.9の直下型地震が発生した場合に、市内で想定される最大の揺れをマップに表示しています。

計算は、約50m四方の「メッシュ」単位で行っています。

(平成30年 天草市作成)

危険度

震度 6 弱
震度 6 強
震度 7

2000 0 2000 4000 6000m

地震の揺れと想定される被害

- 震度 6 弱
- 立っていることが困難になる。
 - 窓ガラスが破損、落下することがある。
 - 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
 - 耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れることがある。
- 震度 6 強
- はわなと動くことができない。飛ばされることがある。
 - 大きな地割れが生じたり、がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。
 - 広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。
- 震度 7
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
 - 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

※出典:「震度と揺れ等の状況(概要)(平成21年3月)」気象庁

津波に関する警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が気象庁から発表され、その後の予想される津波の高さや津波の到着予想時刻などが発表されます。

種類	発表される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。
津波注意報	1m (0.2m≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。	海の中にいる人は、ただちに海から上がり、海岸から避難してください。